

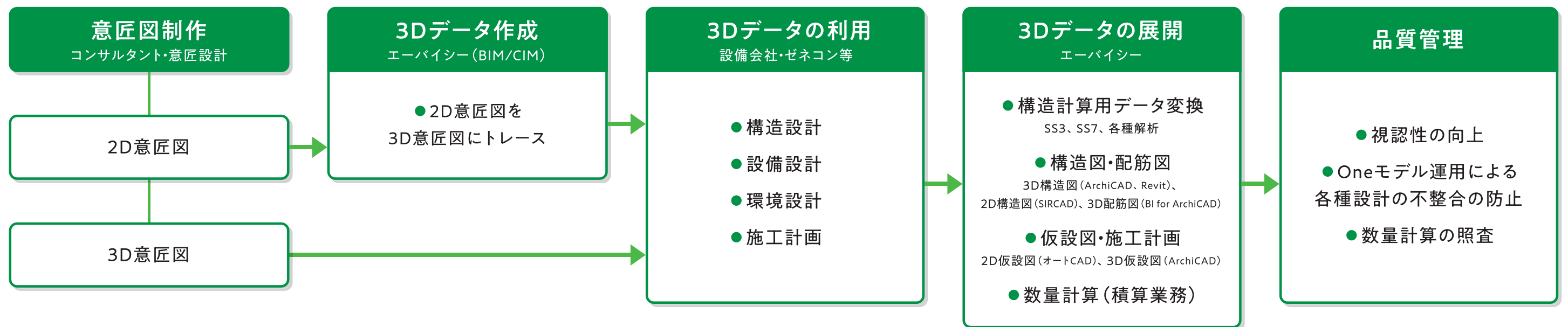
エーバイシーではBIM/CIMによる実施設計を可能にしています。

Oneモデル運用が意匠・構造・設備等の不整合を無くし、設計ミスを防ぐ事に繋がります。

BIM/CIMを使用する目的

- 01 躯体と意匠の整合を取る
- 02 設備と建築の整合を取る
- 03 デザインビルド時のプレゼン(数量、アニメーション)
- 04 仮設図、仮設施工ステップ図の作成
- 05 設計監理(数量計算の妥当性の検証)

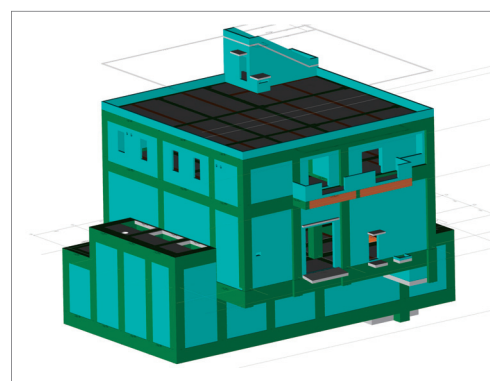
エーバイシーが考えるBIM/CIMの展開



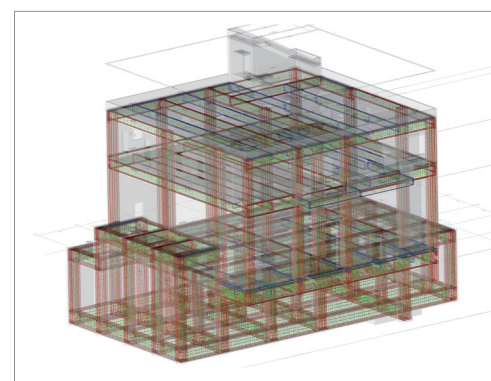
3D配筋図システムの設計・施工管理への応用

3D配筋図システムは単に配筋図作成ツールではなく、その優れた機能は“3Dシステム”と呼ぶにふさわしい設計・施工管理ツールです。

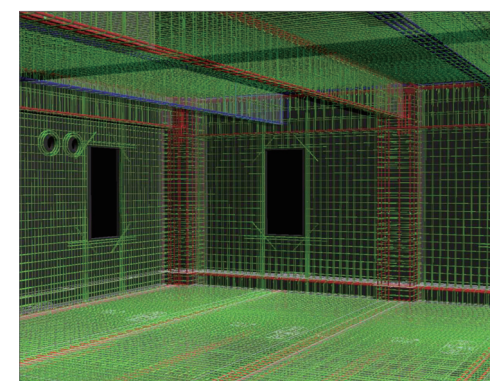
- 視認性の向上支援(意匠図・構造図に対する理解度向上)
 - 設計時の配筋干渉チェックから決まる設計断面の検討
 - 3次元から2次元への移動編集機能による配筋図作成支援
 - 数量計算の効率化と照査
 - 動線計画・配管計画支援
- 設計管理**
- 視認性の向上支援
 - 配筋干渉のチェック
 - 加工帳を含む在庫管理
 - 鉄筋組み立て順序の検討支援
- 施工管理**



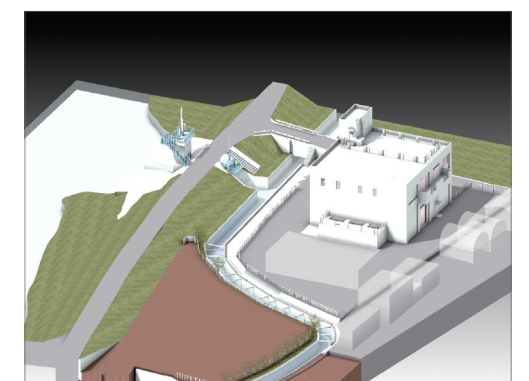
3D躯体図



3D配筋図



ウォークスルー



鳥瞰図

[BIM] Building Information Modeling (ビルディングインフォメーションモデリング) = 建築情報のモデル化

[CIM] Construction Information Modelin (コンストラクションインフォメーションモデリング) 又は Civil Information Modeling (シビルインフォメーションモデリング) = 建設情報のモデル化

<BIM/CIM対応CADソフト>

[意匠] ArchiCAD、Revit、GLOOBE [設備] Rebro、T-fa